

日 時	令和3年2月22日（月） 10:00～11:00 第15回経営会議
出席者	平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、技監、鶴見区長、政策局長、総務局長、財政局長、市民局長
欠席者	温暖化対策統括本部長、政策調整担当理事
議 題	<p>1 根岸住宅地区跡地利用基本計画（案）の市民意見募集の結果及び同計画（原案）について 【政策局】</p> <p>2 横浜市立大学医学部・附属2病院等の再整備構想（案）の市民意見募集の結果及び同構想（原案）について 【政策局】</p> <p>3 保土ヶ谷工場再整備における事業手法について【資源循環局】</p>
議 事 要 旨	<p>1 根岸住宅地区跡地利用基本計画（案）の市民意見募集の結果及び同計画（原案）について</p> <p>【論点】</p> <p>①市民意見募集を市大医学部・附属2病院等再整備構想（案）と一体で行った結果についての報告。</p> <p>②市民意見募集の結果を受けて、跡地利用基本計画（案）の一部修正を行い、跡地利用基本計画（原案）を策定。</p> <p>③跡地利用基本計画（原案）を、地権者、基地対策特別委員会（3月）等に説明した後に、跡地利用基本計画を策定。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>○市民意見募集の実施結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総提出数は234通で、このうち跡地利用基本計画に関する意見は345件であった。 ・主な意見としては、道路の整備に関すること（25.8%）や計画全般について（20.0%）、交通アクセスに関すること（14.2%）等が挙げられた。 <p>○地権者アンケートの実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市で郵送先を把握している地権者172名（うち73名より回答）に対して、根岸住宅地区跡地利用基本計画（案）についてアンケートを実施。 ・跡地計画（案）や市大医学部・附属2病院等の再整備候補地となっていることについては「良い」「概ね良い」の回答が80%を超えた。 <p>○跡地利用基本計画（案）の修正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な道路の整備と根岸森林公園の安全な利用について分かり難いため、道路の必要性や公園利用者の安全性の確保について追加。 <p>○今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意見募集でいただいた意見等を踏まえ、令和2年度内に跡地利用基本計画を策定する。

【主な意見等】

- ・市大病院等の利用者数なども踏まえて、周辺の交通アクセスに関する整備の検討を行うこと。
- ・地権者アンケートについては、今回の回答は、該当者の半数となっているため、来年度以降、残りの地権者の方についてももしっかり意見を伺っていく必要がある。
- ・引き続き、地元の意見にも対応していく必要がある。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。

2 横浜市立大学医学部・附属2病院等の再整備構想（案）の市民意見募集の結果及び同構想（原案）について

【論点】

- ①市民意見募集を根岸住宅地区跡地利用基本計画（案）と一体で行った結果の報告。
- ②市民意見募集の結果を受けて、市大医学部・附属2病院等再整備構想（案）の一部修正を行い、同構想（原案）を策定。
- ③同構想（原案）について、政策・総務・財政委員会（3月）等に説明した後、策定。

【説明要旨】

○市民意見募集の実施結果について

- ・総提出数は234通で、このうち再整備構想（案）に関する意見は182件であった。
- ・主な意見としては、再整備の具体的な内容に関すること（23.1%）や交通アクセスに関すること（20.9%）、環境に関すること（18.7%）、再整備への期待に関すること（17.0%）等が挙げられた。

○市大医学部・附属2病院等再整備構想（案）の修正について

- ・大学病院の機能強化を期待する声がある一方、「根岸地区への交通アクセス」「再整備に伴う根岸住宅地区の周辺環境の変化」「現行2病院の跡利用」について心配する声があった。
- ・これらの課題に対する具体的な対応策の検討や、「再整備基本計画」の策定プロセスにおいて、改めて市民意見募集を行うなど、市民理解を得ながら検討を深めていくことを明示するため、構想（案）を修正する。

○今後の進め方

- ・いただいた意見等を踏まえ、令和2年度末に再整備基本構想を策定する。
- ・根岸住宅地区の返還の動向を見極めながら、構想の具体化に向け、令和3年度から基本計画の検討に着手していく。

【主な意見等】

- ・現行2病院等の関係者及び利用者の交通アクセス利用の状況をしっかり分析した上で、周辺の交通アクセスに関する整備の検討をすること。
- ・現行2病院の跡利用についても、引き続き、しっかり検討を進めていくこと。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。

3 保土ヶ谷工場再整備における事業手法について

【論点】

- ・保土ヶ谷工場の再整備は、公設公営（DB）により実施する。

【説明要旨】

- ・保土ヶ谷工場の再整備の事業手法の選定にあたり、本市による管理運営、民間活力の導入等について検討を行った。
- ・比較検討する事業手法は、事業者の参入意欲を踏まえて、公設公営（DB）・公設民営（DBO）・民設民営（BTO）とした。
- ・その結果、運営期間20年間での市支払額（運営期間中の建設費・運営維持管理費等から国庫補助金・売電収入等を差し引いた収支）は、公設公営（DB）と比べて公設民営（DBO）がほぼ同額、民設民営（BTO）が高くなった。
- ・運営費については、これまでの本市工場運営実績に基づく経費比較では、公営は民営と比較して大幅な事業費の削減見込みがある。
- ・また、本市職員が長年培ってきた技術力やノウハウを維持し技術の伝承を図ることで将来にわたり効率的、安定的な焼却工場の運用ができる。
- ・これらの検討を踏まえて、保土ヶ谷工場の再整備は公設公営（DB）により実施する。整備計画策定に向けて、市費負担の軽減策、平準化策を引き続き検討するとともに、地域や社会のニーズに貢献できる工場を目指す。

【主な意見等】

- ・建設費および運営管理費については、今後、整備計画を進める中で、他都市実績など踏まえ、最も効率的になるよう引き続き検討すること。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。